



福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 (略称:横浜市社協)



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集 世代も 文化も まるごとつながる みんなの居場所 ～「鶴見みんなの会」の取組～



福よこクイズプレゼント

ドリップコーヒー 5袋セット
→詳しくは裏表紙へ



ゲームコーナーで楽しむ「鶴見みんなの会」の参加者
(鶴見中央地域ケアプラザにて: 4月11日撮影)
→詳しくは特集で

もくじ

福祉の仕事 国際交流ラウンジの地域コーディネーター p4

ボラセン情報 知ることから始まる障害理解
～当事者講師とともに進める企業研修～ p5

市社協情報 「あんしん終活相談センター」が開設されました! ... p6

福祉よこはま最新号と
バックナンバー▶



福祉よこはま 検索

まるでひとつの家族のように… 「鶴見みんなの会」

地域に住む誰もが、気軽に立ち寄れる場所があるといい…「鶴見みんなの会」は、そんな思いから、住民同士の交流の場として始まった、誰もが参加できる多世代・多文化交流サロンです。(月1回、鶴見中央地域ケアプラザにて開催)

集まってくるのは高齢者、子育て世代と子ども、障害のある人や外国につながる人などさまざま。中高生ボランティアやまちの事業所、関係機関も加わって和気あいあいとした雰囲気になります。参加したみんながつくりだす「心地よいごちゃまぜ空間」が、誰もが主役となる地域共生社会※¹につながっています。



世代も まるごと みんなの

年齢や国籍、立場を越えて地域
参加者やボラン
世代や文化、「支える側」「支
さまさまな人
鶴見区の取組

いろいろな世代から
アイデアが飛び交います

けん玉やこま回しなど
特技を披露!



最初は高齢者対象の集まりでしたが、子どもや子育て世代、地域の人と幅が広がり、多世代交流の場となりました。みんなの会は、みんなの「得意」が集まる場所。今日、けん玉を披露してくれた小学生は飛び入り参加の子。また友だちを誘って来てくれるといいな。



◀ 鶴見中央地区民生委員児童委員協議会 会長 島田さん

外国につながる人も
楽しめる場所

11年前にベトナムから来日しました。ここでは、多くの人とたくさん話ができるので日本語の勉強にもなります。日本に住み続けたい外国人の、困りごとや興味のあることをサポートしたいです。



▲ 鶴見国際交流ラウンジ ニャンさん

参加者とボランティアの
垣根を越えて…

5人の子どもと参加しています。参加者としてだけでなく、ボランティアとしても関わるようになりました。ここで出会うたくさんの人が、子どもたちにとって憧れの存在になっています。



▲ 有本さん



ゲームコーナー



工作コーナー

中国の出身です。外国人の子育て体験談について、皆さんの前で話したこともあります。ここには、丁寧なやさしい日本語と笑顔があり、緊張せず安心していられます。疲れていても、充電するかのようパワーをもらえるあたたかい居場所です。

▶ 藤井さん



視覚に障害があります。ボランティアができないかと区ボランティアセンターに相談し、この会を紹介されました。参加者同士が気遣いあいながら、ポッチャやオセロを通じて楽しむ経験は、普段の生活では得られないものです。



▲ 藤本さん

近所の人に誘われて2回目の参加です。小さな子どもの姿を眺めているだけで元気が出ます。



▶ 80代女性





学生も活躍しています! /



ペットボトルカーリング

文化も つながる 居場所



あん ▲安さん(高校生)

ペットボトルカーリングを担当しました。SNSで調べたり、流行りのゲームを取り入れたりして、**みんなが楽しめるよう企画しています**。昨年度、中高生ボランティアグループを結成しました。今日いないメンバーも含めて、みんなの会の活動やその他イベントの企画運営を頑張ります。

地域の人から「**学生のあなたたちはすごい力を持っているから**」と誘われて参加するようになりました。普段の生活では出会えない人と出会い、話ができるのが楽しくて、今ではここに来ることが当たり前になっています。



しみず 清水さん(高校生)▶



薬剤師さんの 三二健康講座も!

本が好きなので、子どもたちへの絵本の読み聞かせを企画しました。**ボランティアも参加者も、一緒になって楽しめるのがいいところだ**と感じています。



まつもと 松本さん(高校生)▶

の誰もが「**主役**」になれる場所…
ティアの区別なく、
えられる側」の垣根を越えて、
が協働する
を紹介します。

普段の仕事と違い、ゆっくりと近い距離で地域の人と話せるのが嬉しいです。薬局に来た人が「**みんなの会の人だ**」と声をかけてくれたことも、**ここでの出会いが日常につながっています**。



いわもと 田辺薬局 岩本さん

地域ケアプラザの紹介で参加するようになり、2年目です。担当しているポッチャは、**たくさんの人で盛り上がり**ました。高校生の先輩から教わったことを、後輩たちにも伝えていきたいです。



せお 妹尾さん(中学生)▶

ここが ポイント!

みんなが楽しめる場づくり

- 毎月、誕生月の参加者をピアノの生演奏でお祝い
- 外国につながる参加者から、それぞれの国の遊びや料理を紹介
- 終了後には反省会を開催。振り返りややりたいことを話し合っています



新しいアイデアが次々!

▲反省会の様子

ものづくりが好きで、工作コーナーを担当しました。できあがったものを喜んで持ち帰ってもらえると嬉しいです。**国際交流ラウンジが掲げる多文化共生の一環として、地域住民の人たちと交流できれば**と思っています。



いちかわ 鶴見国際交流ラウンジ 市川さん▶

福祉の仕事…4ページをご覧ください

0歳から120歳までの居場所です



これからの「鶴見みんなの会」の方向性は、参加するみんなのアイデア次第。ボランティア自身も楽しんで、**自由な発想で自由に過ごせる場所であることが、続けていく秘訣だ**と感じています。これからも、0歳から120歳まで、まるでひとつの大家族のような居場所であり続けたいです。

たわら ◀鶴見みんなの会 代表 俵さん

一人ひとりが少しずつお互いを気にかけることで「**たすけあい**」の輪が広がっているのが魅力。同じような取組が地域に広がるよう、サポートしていきたいです。

ふたぎ 鶴見区社会福祉協議会 二木さん▶



鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)^{※2}の思いを具現化したような会です。**初めての参加者も決してひとりにしない、あたたかさに溢れています**。

よこやま ◀鶴見中央地域ケアプラザ 社会福祉士 横山さん

※1 地域共生社会とは…

地域住民や地域の多様な主体が分野や世代を越えてつながり、支えあいながら暮らしと生きがいをもとにつくる社会

※2 鶴見区地域福祉保健計画(鶴見・あいねっと)とは…

「たすけあい・支えあい・人と人とのネットワーク」を基本理念として、誰もが安心して、自分らしく健やかに暮らせるまちをみんなでつくることを目指す計画



その人が「日本にいる理由」を受け止めて 自然体で接しています

鶴見国際交流ラウンジ 地域コーディネーター

いちかわ りょうじ

市川了次さん に聞きました

きっかけ 60歳まで船舶会社や商社に勤務し、海外出張でいくつかの国を訪れ、「その土地で暮らす人」をもっと知りたいという思いを抱きました。これまで多言語を学び、国内外での日本語教育に関わってきました。経験を生かせるならと、3年前から鶴見国際交流ラウンジ(以下、ラウンジ)に勤めています。

日々の仕事 鶴見区に暮らす外国人と地域の人との交流を目的とした事業を担当しています。「つまみワールドフェスティバル」といったイベントへの出展をはじめ、小・中・高校での国際理解に関する授業や、外国につながる子どもが通う保育園で母国語を交えた遊びの会の実施など、多言語交流のきっかけづくりを行っています。

心がけていること 外見や国籍で先入観を持つと相手は身構えてしまいます。たまたま巡り合った人同士、自然体で接するようにしています。考えすぎると話せなくなるので、誤解があれば伝えあい、間違いは素直に謝るような関係性でいたいと思います。

やりがい・喜び イベントで言葉を交わした外国人が、次の機会に会いに来てくれると励みになります。言語は人とのつながりを生み、片言でも打ち解けるきっかけになります。また、学校の授業に出向いた際に外国につながる子どもが母国語で話すと本来の明るさを見せ、他の生徒が新たな一面に気付くことも嬉しい場面でした。

この仕事に興味のある人へ 好奇心旺盛で、挑戦を楽しめる人に向いている仕事です。さまざまな依頼が寄せられますが、まずは引き受けて工夫しながら形にしていきます。自分が海外で親切にもらった恩返しに、日本で暮らす外国人には家族のように寄り添いたいと思っています。

外国につながるのある人とともに暮らすこと

多くの外国人は日本が良い国だと感じながらも、一番の心の拠り所は母国だと思います。仕事、生活、留学、技能実習など滞在の理由はさまざまですが、その背景や気持ちを想像しながら接することが大切だと思います。

鶴見国際交流ラウンジ

(Tsurumi International Lounge)

運営：YOKE(公益財団法人横浜市国際交流協会)

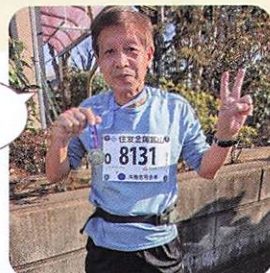
国際交流ラウンジは、多文化共生のまちづくりを推進する拠点施設で横浜市内13か所に設置されています。鶴見区にある鶴見国際交流ラウンジでは、外国人住民と日本人が安心して暮らせる地域づくりを目的に、相談・学習・交流の場(多言語での生活相談、情報提供、日本語学習支援、子どもの学習支援、文化交流イベントなど)を提供しています。

ホームページ▶



住所 横浜市鶴見区鶴見中央1-31-2 シークレイン2階

電話 045-511-5311



続けることで
世界が広がります

多趣味な市川さん。▶
55歳からマラソンを始め、
80を超える大会に
出場しています

福祉人材に関する情報

かながわ福祉
人材センター



ホームページ▶

横浜市内の
介護人材
関連情報



ホームページ▶

広告

公益財団法人
横浜市シルバー人材センター

会員募集中! 会員登録
無料

シニア世代の「働く・学ぶ・参加する」を支援します!



お仕事紹介

各種講習会

サークル・ボランティア

入会条件

- ★横浜市内在住の概ね60歳以上の方
- ★お仕事・仲間作り・社会参加したい方

会員登録の方法

- ★オンラインで登録(所要時間20分程度)
- ★来所して登録(所要時間60分程度/事前予約制)

〒231-0031

横浜シルバー

検索

横浜市中央区万代町2-4-7横浜市技能文化会館8階

TEL : 045-847-1800



📢 知ることから始まる

障害理解

～当事者講師とともに進める企業研修～

横浜市・区の社会福祉協議会では、地域や学校、企業・団体と一緒に、福祉や地域共生社会について考える「福祉教育」を進めています。障害理解に関する相談も多く寄せられることから、横浜市ボランティアセンターでは、障害のある方が自身の体験をもとに障害理解や合理的配慮の大切さを伝える「障害当事者講師派遣事業」を実施しています。

今回は、令和6・7年度に当事者講師を派遣した、株式会社オリエントコーポレーション 横浜管理センター（横浜市中区）の取組を紹介します。

取組のきっかけ

「お客様へのより良い対応を身につけたい」「従業員の障害理解を深めたい」との相談を受け6年度に管理職向け研修を行いました。その後、「他の社員にも学びを広げたい」という声もあり7年度は対象を拡大して、研修を実施しました。



横浜市ボランティアセンター職員から「障害者差別解消法」や企業における合理的配慮の考え方を説明



弱視・難聴のある当事者講師の進行のもと、研修前に参加者がもっている「障害」のイメージを共有

参加者の感想

- 障害について、直接当事者からお話を伺うことができ、率直に深く感銘を受けました。演習を通して理解がさらに深まり、個人として、また会社として何ができるかを考えていきたいと思いました。
- まずは対話を心がけ、この研修内容を社内に広めていきたいと思います。
- 付き添いの方ではなく「当事者本人に向けて話しかける」ということを、実際の来客対応で実践しました。研修で教えていただいたこと、とても役に立っています。



イラストや動画、当事者講師の話を通してグループワークを行い、「障害とは何か」について意見交換！

研修前後で変化した障害のイメージを全体で共有し、最後には、当事者講師より企業として取り組める合理的配慮について説明



横浜市ボランティアセンター 担当より

「障害当事者講師派遣事業」に登録している講師は、身体障害や精神障害、発達障害、知的障害のある方などさまざまな方がおり、依頼内容に沿った講師を派遣します。

企業の職員研修のほか、学校での福祉学習や地域での講座など、さまざまな場面に派遣することができますので、お気軽にお問い合わせください。

📞 お待ちしています!



横浜市ボランティアセンターより

令和9年1月下旬から3月頃にかけて、3年ぶりに「障害当事者講師養成講座」を開催予定です。横浜市ボランティアセンターホームページへ募集チラシや講座カリキュラムを掲載します。詳細は、11月に掲載予定の募集チラシをご確認ください。

この記事に関するお問い合わせ・「障害当事者講師派遣事業」「障害当事者講師養成講座」についてはこちら

横浜市ボランティアセンター

☎045-201-8620

ホームページ(福祉教育ページ)▶



「あんしん終活相談センター」が開設されました!

あんしん終活相談センターでは、「終活」を通じてこれからの生活を安心して自分らしく過ごしていただけるよう、みなさまの「はじめの一歩」を応援します。

これからの暮らしで不安になりやすいことを整理し、終活に関する不安や疑問を受け止め、自分らしい終活の進め方を一緒に考えます。メールや電話のほか、センター窓口で相談(要予約)ができます。

将来に向けてご自身の希望や想いを形にする準備をしませんか?

開所日時 月～金曜日 午前9時～午後5時
※祝日・年末年始を除く

対象 市内在住で将来に向けて準備(終活)をしたい方、頼れる人がおらず将来に不安を抱えている方またはそのご家族及び支援者

場所 横浜市中区桜木町1-1 健康福祉総合センター9階
横浜生活あんしんセンター内

横浜市からの委託を受けて、横浜市社会福祉協議会が運営しています。

ホームページ▶



【問い合わせ】横浜生活あんしんセンター内 あんしん終活相談センター ☎045-201-2045



賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和8年1月10日～4月10日 新規受付・継続受付分

個人
●佐藤 龍樹 様

【問い合わせ】
横浜市社会福祉協議会 総務部
☎045-201-2096

賛助会員・
賛助会費の
ご案内



みんなのきもち ありがとう

みなさまからの寄付は、地域の助けあい、
支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



～寄付金を活用した取組紹介～

若者支援事業「はじめの一歩プロジェクト」

さまざまな生きづらさを抱える若者たちを就労面でサポートしている「よこはま若者サポートステーション」とともに、若者の声を聴き、社会に知ってもらうための取組を進めています。令和5年度からは「IDEC(横浜企業経営支援財団)」にご協力いただき、市内モノづくり企業の見学会や体験会を実施しています。3年間で、のべ34名の若者が参加し、見学先企業に就職した方や、自身の適性を知り、自分に合った分野で就労を開始するなど就労を後押しする取組となりました。



▲見学会の様子

よこはま若者サポートステーションより

働くことに不安を抱える若者にとって、就労前に、企業の雰囲気や社員の方の姿を自分の目で確かめる経験はとても重要です。見学後実際に就職が叶った方からは「見学・体験で企業の飾らない姿を見られたことで、安心して入社できた」という声が聞かれました。

また寄付金による交通費補助があったことで、こうした機会に無理なく参加でき、納得感をもって進路を選ぶことにつながった点は、具体的で実効性のある就労支援であったと感じています。

横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています
☎045-201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和8年1月1日～3月31日受付分(受入順)

金銭寄付者

(個人)

- 朱月平 様
- 菅 瑠夏 様 (3件)
- 福島 孝 様

(企業・団体)

- 横浜信用金庫 理事長 春日 隆 様 (3件)
- ふれあいチャリティバザー実行委員会 様
- 株式会社 創健社 様
- 横浜幸銀信用組合 様
- 生活協同組合ユーコープ かながわ県本部 様
- いのちと分析セラピーオフィス 様 (3件)
- メモリーズ 株式会社 様
- 株式会社 ベルク フォルテ森永橋店 様
お客様一同 様
- 株式会社 ベルク フォルテ横浜川和町店 様
お客様一同 様
- 株式会社 カンキョワークス 様
- ブックオフコーポレーション 株式会社 (キモチと。) 様
- 株式会社 はぴっく 様
- フェリス学院中学校・高等学校 様

物品寄付者

(企業・団体)

- 吟楽会 様
- 土志田建設 株式会社 様
- 横浜ベイシヤトンホテル&タワーズ 様
- 株式会社 大宮ゴルフコース
代表取締役 甘糟 澄子 様
- 日本ハムマーケティング 株式会社
南関東販売部 横浜営業所 様
- 株式会社 バリュエハウス 様
- (匿名寄付) (61件)
- 大地商事 株式会社 様
- ウェスティンホテル横浜 様
- 株式会社 ソフト 様
- 横浜西ロータリークラブ 様/
横浜MM21ロータリークラブ 様/
横浜戸塚ロータリークラブ 様/
横浜戸塚中央ロータリークラブ 様/
株式会社 高島屋 横浜店 様
- 株式会社 オーバーシーズ 様
- マラーウズンフィルハーモニック東京 様
- 相模鉄道 株式会社 様
- (匿名寄付) (1件)

ヨコハマ寄付本寄付者

(企業・団体)

- パナソニックオートモーティブシステムズ 株式会社 様 (2件)
- 横浜市北山田地区センター 様 (4件)
- 横浜市富岡東地域ケアプラザ 様
- 日石横浜ビル(ジャパンエクセレント投資法人・株式会社 第一ビルディング) 様
- 東芝エレベーター 株式会社 神奈川支社 様
- トランスコスモス 株式会社 様
- 認定NPO法人 横浜移動サービス協議会 様
- 株式会社 ニューフレアテクノロジー 様
- (横浜市社会福祉協議会運営施設等)
- 横浜市旭区社会福祉協議会 様
- 磯子区福祉保健活動拠点 利用者一同 様
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同 様 (6件)
- 横浜市麦田地域ケアプラザ 様
- 横浜市鶴見区社会福祉協議会 様
- 老人福祉センター 横浜市コートピア青葉もえぎ野地域ケアプラザ 様
- 横浜市篠原地域ケアプラザ 様
- 横浜市港南区社会福祉協議会 様
- (匿名寄付) (49件)

弁護士や司法書士による遺贈寄付の専門相談を受け付けています。
毎月第2水曜日(要予約)



▲ホームページ



ヨコ寄付

本会への寄付金を活用し、制度では対応できない課題の解決を目指します



▲ホームページ

令和8年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

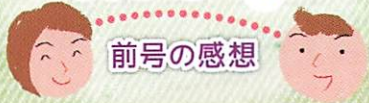
団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

みんなの声



前号の感想

前号の内容

- 特集
民生委員・児童委員
- 福祉の仕事
横浜市民生委員児童委員協議会会長
- ボラセン情報
助成金を活用した
「みんなが輝くファッションショー」
- みんなのきもちありがとう
本郷Yランナース(寄付の活用先)

近所の公園で、民生委員さんがベンチでお年寄りの話に耳を傾ける姿をよく見ます。行政と私たちをつないでくれる大切なお役目ののだなあ、としみじみ感謝しています。
(港南区 みーまま)

障害のある子どもを授かってから、民生委員さんに声をかけていただくことは心の拠り所でした。学生ライターさんのインタビューは、今後も続けてほしいです。学生の方に、在学中に福祉に興味を持っていただけることはありがたいです。
(港北区 M.Y)

民生委員が児童委員を兼ねていることは記事を読んで初めて知りました。地域にこのような相談に乗っていただける方がいるのはとても心強いと思います。
(東京都 R.A)

地域のマラソンサークルの紹介がありましたが、大会に障害のある人が多数参加されているのを知っていますので、今後もスポーツ活動をしている各地域のサークル等を取り上げてほしいです。
(都筑区 C.K)

ファッションショーの取組に惹かれました！可愛くなりたい、おしゃれがしたいという気持ちは誰にでもありますが、その気持ちを上手く表現できる人ばかりではないので、そのお手伝いを自分もしたいと思いました。
(石川県 あお)

みんなの声は「福よこクイズ」に寄せられた感想・ご意見を掲載しています。

クイズに答えて、プレゼントにご応募ください /

福よこクイズ

ご感想もお待ちしています!

Q (福祉の仕事)「国際交流〇〇〇〇」は、多文化共生のまちづくりを推進する拠点施設です。(カタカナ4文字)

利用者さんのオリジナル手描きパッケージ!!

今号のプレゼント

ドリップコーヒー 5袋セット

※デザイン・色はおまかせください



「ゆたかカレッジ Y.Y.WORK」は、戸塚区戸塚町にある就労継続支援B型事業所です。はたらくことの「やりがい」や「楽しさ」を感じながら、販売を通して社会とつながる喜びを大切にしています。季節の風味を活かしたコーヒーは、日常に癒しと活力を与えてくれます。お湯をそそぐだけの簡単なドリップタイプのコーヒーです。



▲一点一点、手作業で



ゆたかカレッジ Y.Y.WORK ホームページ



ゆたかカレッジ Y.Y.WORK Instagram (アカウント名) y.y.work



応募方法 はがき・FAX・Eメール・応募フォームにて、次の項目をご記入のうえお送りください。

項目

- 1) 記事の感想・ご意見
- 2) 福祉よこはまの入手方法
- 3) 福祉よこはまの入手回数
- 4) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否 (匿名希望はイニシャルを記載)
- 5) クイズの答え
- 6) 氏名(ふりがな)
- 7) 年齢
- 8) 電話番号
- 9) 郵便番号・住所

ご感想のみの方もお待ちしております。

応募先

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市社協「福よこクイズ」係 FAX 045-201-8385

Eメール kikaku@yokohamashakyo.jp

福よこクイズの応募先であるメールアドレスが変わりました。ご注意ください!

「福よこクイズ」応募フォーム



【個人情報取扱】

応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考におのみ利用させていただきます。

前号218号「福よこクイズ」の答えは、「つなぎ」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

編集後記

◆ 特集:「みんなの会」の反省会では、学生ボランティアから改善案が次々に出され、それを大人たちは前向きに受け止めていました。そういった自由な雰囲気に参加者や会全体に広がり、「やらされている」のではなく「好きだから参加している」と自然に感じられる、居心地のよい場をつくっていると思いました。探してみれば、身近にも意外な集まりが見つかるかもしれませんね。

◆ 福祉の仕事:国際交流ラウンジでのお仕事の話から、ご自身のボランティア活動での経験談まで。外国につながる方々とのふれあいについて語る市川さんの目は、きらきらと輝きに溢れていました。人とのつながりを大切に、好奇心を忘れず常に学び続ける姿勢に、「何か新しいことを始めてみようかな」と心が動く取材スタッフでした。

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。



横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



〈発行〉
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090 FAX:045-201-8385
Eメール:kikaku@yokohamashakyo.jp
URL:https://www.yokohamashakyo.jp

〈デザイン〉
株式会社 オールスタッフ
次号▶No.220
令和8年9月発行予定